

麻機遊水地の整備と産学官民連携による取組 ～生命にぎわう わ(環・和・輪)の湿地麻機をめざして！～

日時：令和4年3月2日

麻機遊水地保全活用推進協議会

事務局 静岡県： 静岡土木事務所 河川改良課

静岡市： 緑地政策課

概要

- (1) 麻機遊水地の概要
- (2) 協議会発足の経緯
- (3) 協議会の活動

麻機遊水地の概要



【近隣施設】

静岡てんかん・神経医療センター
静岡県立こども病院
静岡県立中央特別支援学校
静岡県立静岡北特別支援学校

【総面積】

約200ha

【アクセス】

中心市街地から北に約5km
静岡駅から車で約20分
新静岡ICから約5分

巴川水系の治水計画

巴川水系

巴川・大谷川放水路・長尾川・山原川・塩田川・大沢川・草薙川・吉田川等の18の二級河川で構成

【流域の諸元】

流域面積 104.8km²
(都市計画区域の約45%)


流路延長

- ・巴川 17.98km
- ・大谷川放水路 6.30km

流域内人口 約34万人



巴川水系の治水計画①



東名高速道路

巴川水系の治水計画②

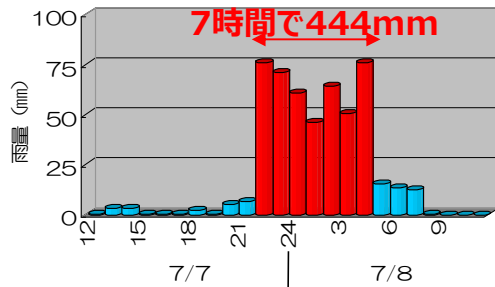
七夕豪雨

静岡市では戦後最大の豪雨
(総雨量508mm、時間雨量76mm)
床上・床下浸水**26,156棟**
浸水面積**2,584ha**
一般資産等被害額**213億円**



巴川水系の治水計画③

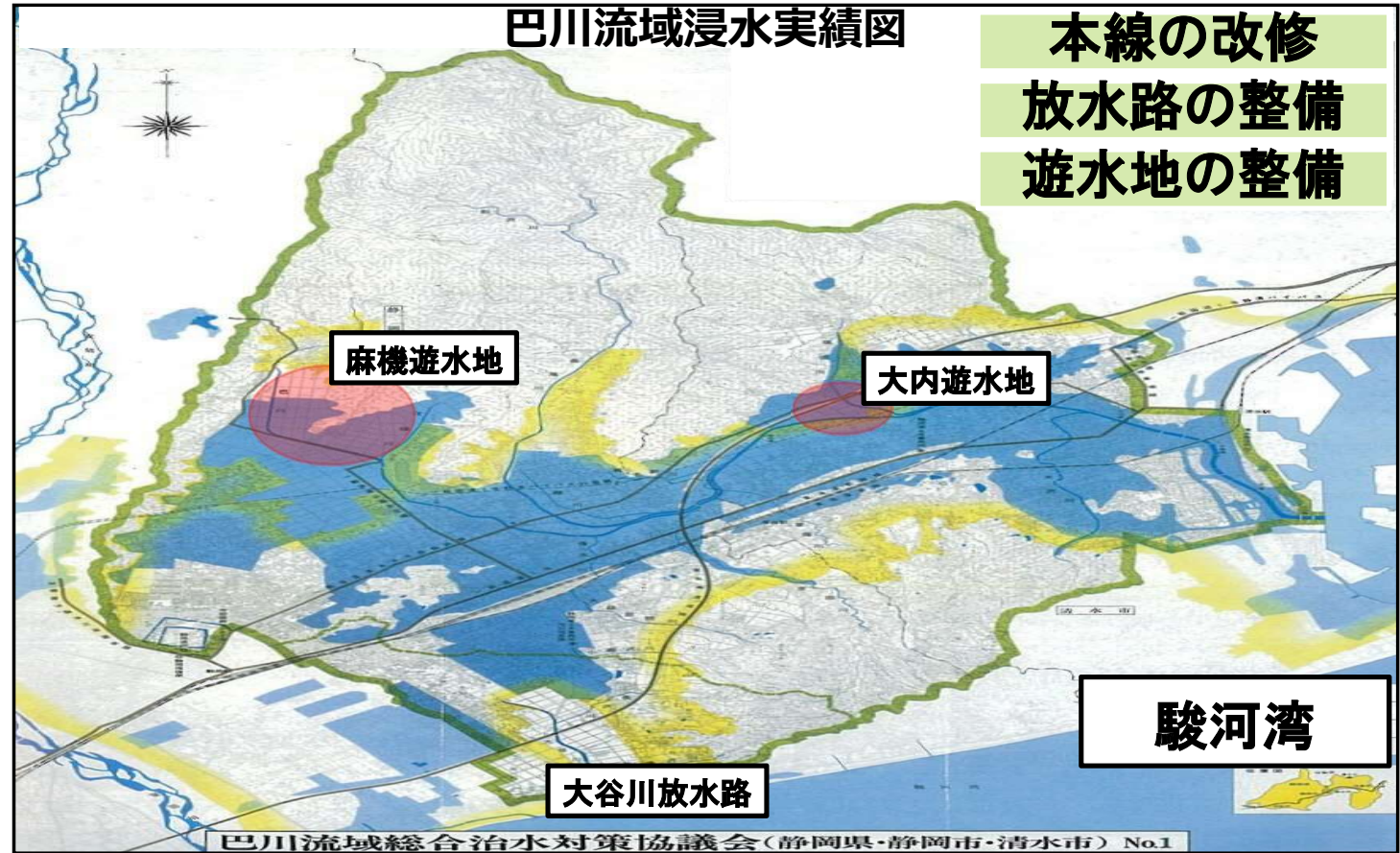
巴川水系の抜本的な
総合治水対策
昭和53年より着手



凡 例

	流域界
	浸水区域
	市街化区域(昭和55年)

巴川流域浸水実績図



巴川水系の治水計画④

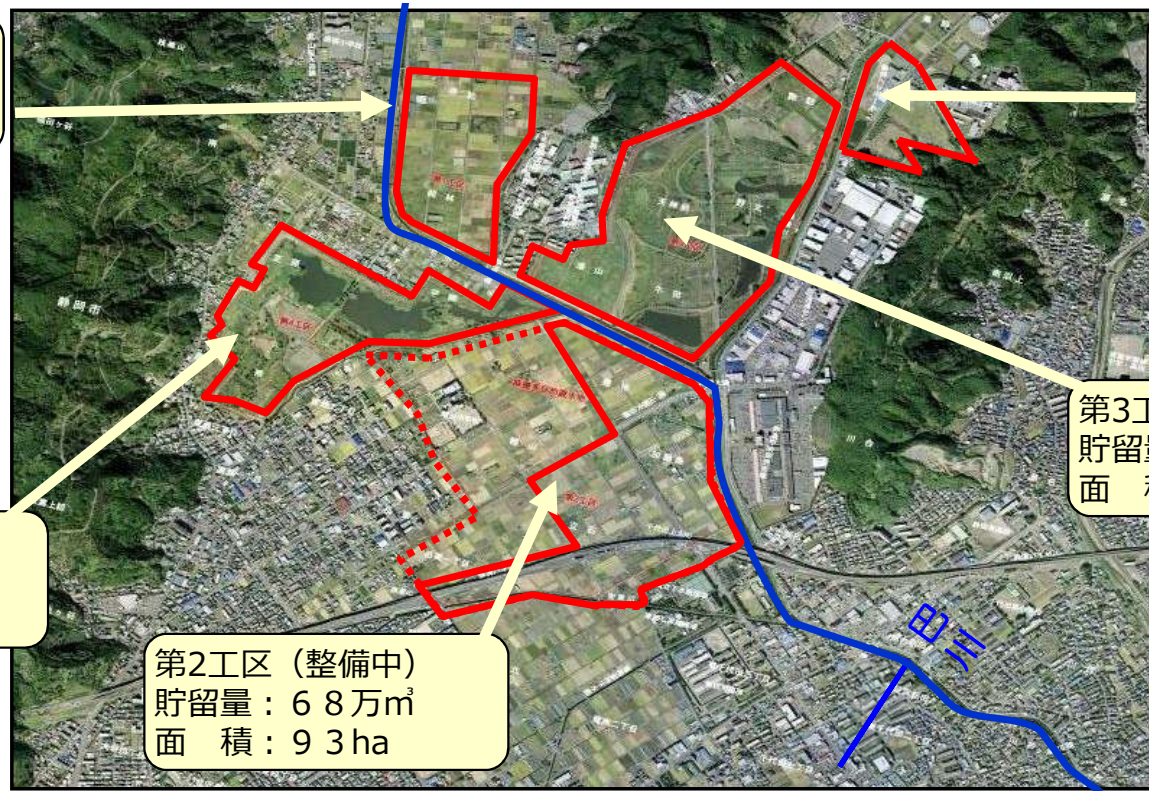
第1工区 (H22完成)
貯留量：20万m³
面積：21.7ha

第5工区 (H4完成)
貯留量：5万m³
面積：5ha

第3工区 (H16完成)
貯留量：67万m³
面積：55ha

第4工区 (H10完成)
貯留量：53万m³
面積：32ha

第2工区 (整備中)
貯留量：68万m³
面積：93ha



治水工事により甦った植物①

ミズアオイ



オニバス



サクラタデ



自然再生を目的に“巴川流域麻機遊水地自然再生協議会”が平成16年に設立

治水工事により甦った植物②

■ 遊水地のイメージ図 巴川



河川を流れる洪水を越流堤部から引き込み、一定時間貯留することで、下流へ流れる洪水量（負荷）を軽減します。

→遊水地の仕組みが**継続して攪乱が起こる環境**を生み出している

麻機遊水地グランドデザイン

平成28年3月策定

自然再生全体構想

巴川水系河川整備計画

麻機遊水地地区

自立発展型の



地域活性化

巴川流域総合治水対策事業

基本方針

治水機能を確保しつつ、地域の自然環境や立地特性を活かした
自立発展型の地域活性化を目指す

柱1: 自然環境の再生

柱2: 環境を活用した健康づくり支援

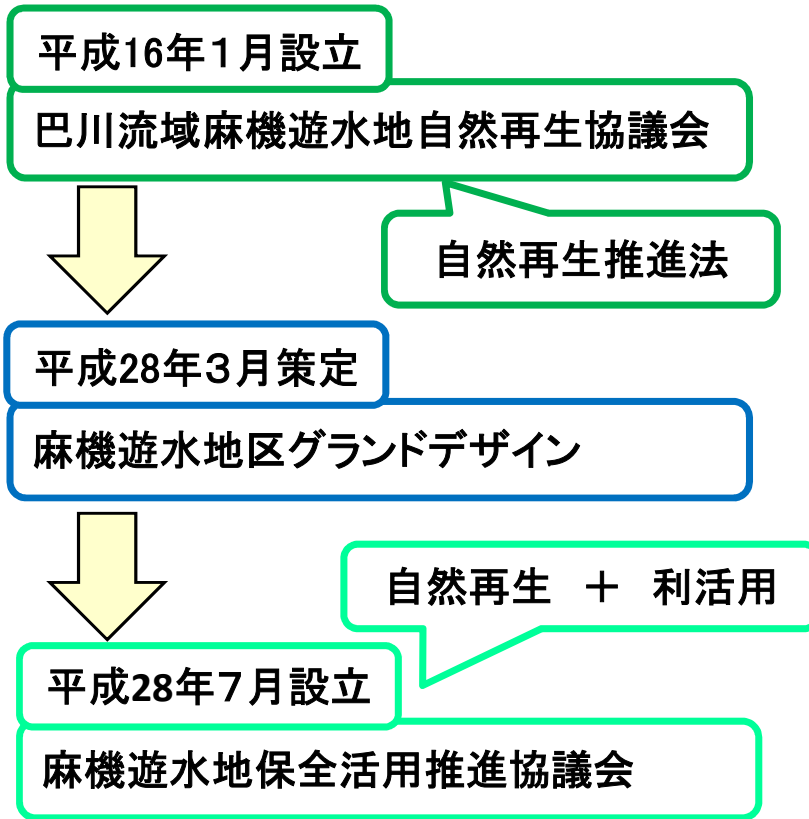
柱3: 交通の利便性を活かした交流の拠点

柱4: 自然と歴史を体感する憩いの場

柱5: 周辺の福祉・医療機関や企業と連携した自然との共生

柱6: 豊かな自然を生かした体験の場

麻機遊水地保全活用推進協議会①



麻機遊水地保全活用推進協議会②

協議会の目指す麻機遊水地の姿
『生命にぎわう わ(環・和・輪)の湿地麻機』

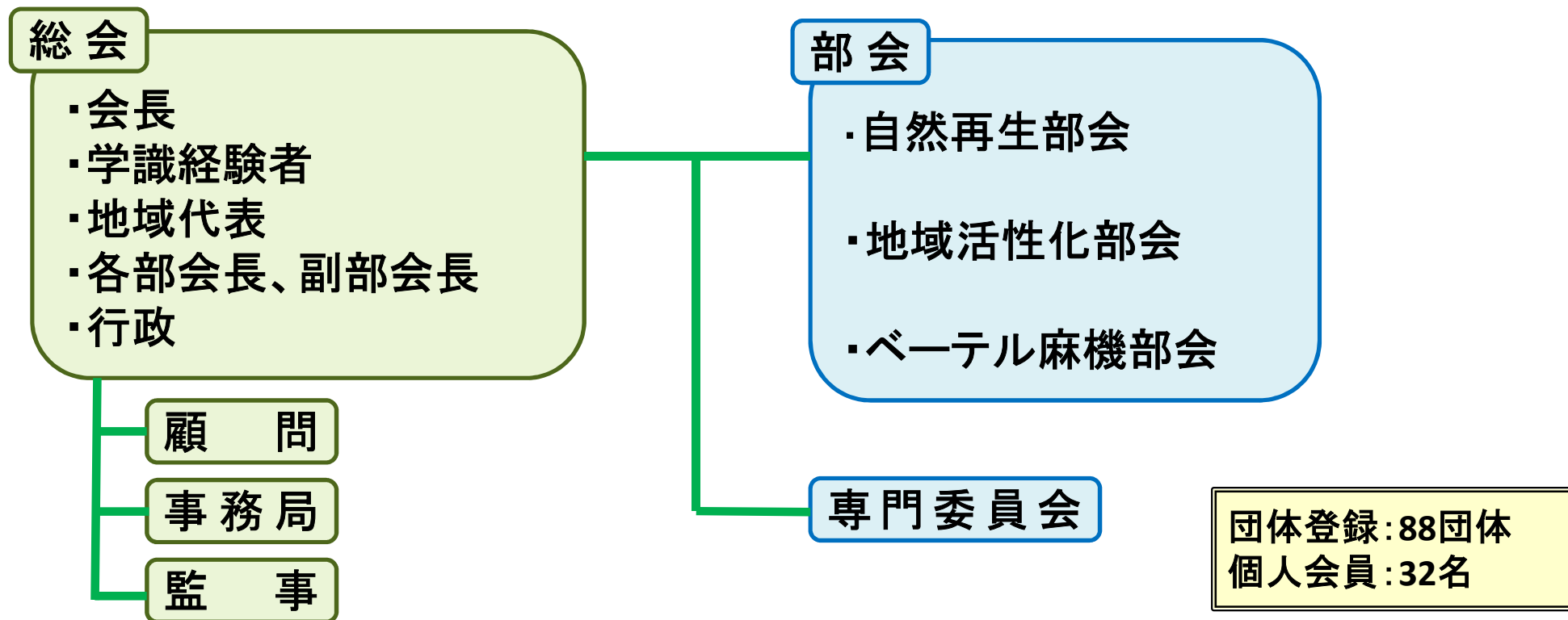
目標1:『良好な水環境の再生』(全体)

目標2:『在来種の保全と生態系のバランスを保つ』(環)

目標3:『人と自然との持続的なかかわりづくり』(和)

目標4:『周辺とのネットワークづくり』(輪)

麻機遊水地保全活用推進協議会③



麻機遊水地保全活用推進協議会④

自然再生部会



サクラタデの観察会

地域活性化部会



柴揚げ漁

ベータール麻機部会



田植え

麻機遊水地保全活用推進協議会⑤

平成 29 年度 協議会の取組み

1. 平成 29 年度取組み一覧

(1) 自然再生部会

項目(行動計画)	目的	H29 年度実施内容	場所	
1	自然観察会と今後を担う人材の育成 ・市民へのPR ・人材の育成、確保	遊水地の生き物を探そう (7/29)	第 1 工区	
2		オニバス観察会 (8/26)	第 1 工区	
3		初秋の散歩観察会 (9/30) (ミズアオイ観察会)	第 3 工区	
4		夜の昆虫観察会 (8/26)	第 4 工区	
5		サクラタデ観察会 (10/14)	第 4 工区	
6	ハスの保全	・オニバスの保全 (草刈り・ヒメガマ除去)	第 1 工区	
7	湿地の攪乱 1	・攪乱依存種の保全 ・多様性のある湿地環境の創出	ミズアオイ生育箇所の攪乱	第 3 工区
8	火入れ実験	・植生管理手法検討のため	火入れ実験 (1/28)	第 3 工区
9	ヨシの活用	・ヨシ原の維持管理 ・樹林化の抑制	植物活用に関する検討 (座談会 1/28)	第 3 工区
10	湿地の攪乱 2	・攪乱依存種の保全 ・多様性のある湿地環境の創出	湿地の維持管理	第 4 工区
11	埋土種子実験と埋土種子の星掃り	・埋土種子を明らかにする ・攪乱依存種の拡大を図る	埋土種子実験と埋土種子の星掃り (静岡北特別支援学校の授業として実施)	周辺地域

(2) 地域活性化部会

項目(行動計画)	目的	H29 年度実施内容	場所
1	水田整備 ・水田環境に依存する動植物の保全 ・市民が遊水地の自然と触れ合うきっかけの場	水田・ハス田の維持管理	第 1 工区
2	ハスの保全 ・ハスの保全 ・市民へのPR	ハス(ハス池)の保全 (草刈り・ヒメガマ除去)	第 1 工区
3	各種イベント	遊水祭 (2/24)	第 1 工区
4		第 5 回麻機遊水地フェスタ (10/28)	第 3 工区
5	風俗・風習の継承 ・麻機地域の風俗・風習を継承し、魅力を高める	柴揚げ (1/21)	第 3 工区
6	竹灯籠づくり・展示 ・周辺の放牧竹林対策 ・地域活性化や活動資金を得るための仕組みづくりの構築	竹灯籠づくり・展示	周辺地域

(3) ベーテル麻機部会

項目(行動計画)	目的	H29 年度実施内容	場所
1	水田 ・市民が遊水地の自然に関わるきっかけ作り ・水田環境に依存する動植物の保全	福祉水田	第 3 工区
2		福祉農園	
3	清掃活動 ・遊水地の維持管理 ・障害者との連携	障害者就労支援事業所と連携した草刈り (6/27)	第 1 工区
4	周囲環境の美化活動 ・周辺施設の方が散策を楽しめる環境づくり ・地域や学校との交流、連携	堤防花壇の管理・除草	第 1 工区
5		ソバの栽培	
6	お散歩観察会 ・病院職員の遊水地への認知度向上のため	お散歩観察会 (10/9)	第 3 工区
7	各種イベント ・地域や学校との交流、連携	ソバ打ち会 (12/9)	第 3 工区
8	堆肥作り ・遊水地や周辺の資源の活用 ・持続可能な取組みの検討	堆肥作り	静岡北特別支援学校
9	循環バスの運行 ・周辺施設の連携 ・利便性の向上	循環バスの運行	第 3 工区 周辺

(4) 専門委員会

項目(行動計画)	目的	H29 年度実施内容	場所
1	外來植物の駆除 ・遊水地内の外來植物を把握し、駆除対象種を選定するため	外來植物調査	第 3 工区
2	その他生物調査 (鳥類) ・現状の自然環境の把握	鳥類調査	第 1,3,4 工区
3	その他生物調査 (昆虫) ・現状の自然環境の把握	昆虫調査 (チョウトンボ・水生昆虫)	第 1~4 工区
4	その他生物調査 (哺乳類) ・現状の自然環境の把握	赤外線カメラによる調査	第 3 工区
5	小池の外來魚駆除実験 ・外來種の駆除 ・市民への啓発	池の水抜き	第 3 工区
6	ミンシッピアカミガメ、外來魚の駆除 ・外來種の生息数の減少 ・在来種の保全	翼によるカメ類の捕獲	第 3 工区
7		カダヤシ調査	巴川流域

(5) 事務局

項目(行動計画)	目的	H29 年度実施内容	場所
1	清掃活動の実施・美化活動 ・遊水地の維持管理 ・障害者との連携	クリーン作戦 (5/20)	第 1,3,4 工区
2	自然博物館、生き物・パネル展示、出前講座 ・周辺施設との連携 ・市民へのPR	各種イベントや施設でのパネル展示	-
3	広報活動 ・市民へのPR ・協議会内の情報共有	ホームページ維持管理、会報発行	-



麻機遊水地第1工区(あさはた緑地)

遊水桜まつり



自然観察会・環境学習



麻機遊水地第一工区(あさはた緑地)



ミズアオイ観察会



地元と連携した農作物栽培





サクラタデ観察会



自然再生部会

遊水地のいきものを探そう



平井工業株式会社が主催。

環境指導員の説明付きで、虫・魚捕り、植物観察、遊び体験などを実施。

小学生とその保護者120名程が参加。

自然再生部会

サクラタデ観察会



NPO法人 麻機湿原を保全する会が主催。
野点、植物・魚類の観察会、地場製品の販売などを実施。
例年は50名程が参加。

自然再生部会

火入れ実験



生態系保全・活用検討会が主催。
樹林化の抑制実験。効果は検証中。
西廣先生監修のもと、30名程が参加。

地域活性化部会

水田・ハス田の保全



地元麻機連合自治会を中心とした公園愛護会による活動。
草刈やヒメガマ除去を行い、ハスの観賞場所を創出している。

地域活性化部会

柴揚げ漁



麻機遊水地柴揚げ保存会が主催。

柴揚げ漁の実演、トン汁などの振舞い、麻機太鼓の演奏などを実施。

柴揚げ漁では例年10種ほどの魚類を捕獲。

来場者数は100名程。

地域活性化部会

さくら祭り



地元麻機連合自治会を中心とした公園愛護会が主催。
早咲きの河津桜の観賞を楽しめるイベント。
来場者数は1,000名以上。

ベーター麻機部会

福祉水田



ベーター麻機部会が主催。
静岡トヨペットが新人研修として参加。
もち米の栽培を行い、収穫量は156kgとなった。

ベーター麻機部会

草刈



(H29. 6. 28 静岡新聞)

麻機自然体験コミュニティ「Balance」が主催。
障害者就労支援事業所と連携し、障がい者の方たち約20名が参加。
自立支援の場として活用。

ベーター麻機部会

ソバの栽培

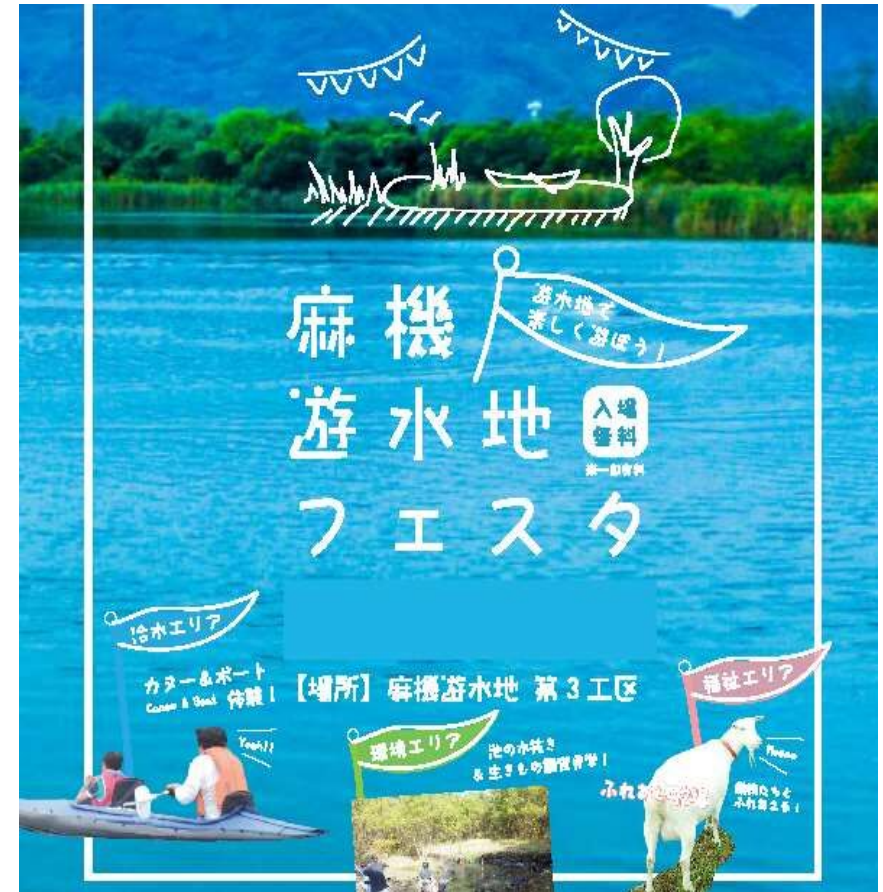


地域の庭を作る会が主催。
静岡北特別支援学校と共同で、ソバの栽培を実施。
収穫したソバは、ソバ打ち会を開催し、その会で使用した。

麻機遊水地フェスタ

- 時期： 毎年秋ごろ
5工区ヘリポート祭りと同日開催
- 開催場所： 麻機遊水地第3工区内
- 目的： 遊水地の機能や植物・生物について理解を深めると同時に、参加企業の活動や強みを生かした展示・体験を提供する
- 内容： 協議会参加団体による遊水地体験イベント
・自然観察ツアー・魚類展示
・ラジコンボート・高所作業車体験
・カヌー&ボート体験・クラフト体験
・かかりづくりコンテストetc

参加者は数千人規模になる麻機遊水地最大のイベント



3. 部会の取り組み箇所



協議会活動の評価



グリーンレジリエンス大賞
最優秀賞



日本水大賞
文部科学大臣賞



日中韓生物多様性政策対話
開催

麻機遊水地の課題①

増大する維持管理費

次世代を担う人材不足

麻機遊水地の課題②

見に来てほしい

実際に来ていただき、麻機遊水地の自然を感じてほしいと思います。
参加団体が開催しているイベントにも足を運んでいただけると、一層麻機遊水地が魅力的に見えると思います。

多くの方に関わってほしい

自社の本業を生かして活動して下さる方も、ほかの要素を生かして活動して下さる方もいます。
色々なかかわり方があるのでぜひ声をかけてください。

ご清聴ありがとうございました。

こちらも ぜひご覧ください！

○麻機遊水地保全活用推進協議会のHP
<https://asabata.org/>

○麻機遊水地1工区(あさはた緑地)を管理する指定管理者のHP
<https://asahata-gp.com/>